

MANTIE DIAOCHA BAOGAO

遼寧省檔案館 編

滿鐵調查報告

第四輯

20

QILINXI NORMAL UNIVERSITY PRESS
齊齊哈爾大學出版社



滿鐵調查報告

MANTIE DIAOCHA BAOGAO

第四輯

20

遼寧省檔案館 編

GUANGXI NORMAL UNIVERSITY PRESS
广西师范大学出版社

· 桂林 ·



滿鐵調查資料第五十七編 青島鹽與關東州鹽的今後

滿鐵庶務部調查課 一九二六年九月 1

滿鐵調查資料第七十八編 一九二七年關東州鹽業統計

滿鐵庶務部調查課 一九二八年六月 211

滿鐵調查資料第一百〇二編 一九二八年關東州鹽業統計

滿鐵庶務部調查課 一九二九年五月 325

滿鐵調查資料第一百四十八編 關東州鹽田、芒硝調查

滿鐵總務部調查課 一九三〇年十二月 439

大連市內下層中國人的飲食調查（一九二七年五月下旬調）

滿鐵社長室人事課 一九二七年五月
.....



滿鐵調查資料第五十七編

青島鹽與關東州鹽的今後

滿鐵調查資料第五十七編

青島鹽と關東州鹽の今後

南滿洲鐵道株式會社

庶務部調查課

青島鹽と關東州鹽の今後

凡 例

一、當課は曩に我が國に於ける食糧問題の解決の一端に供せん爲め、「我が國に於ける鹽の需給と關東州の鹽業」を刊行したのであるが、今回青島鹽輸出再開を見るに至つたに際し、茲にまた稿を起して表題の如く膠州灣鹽業の實狀を世に紹介すると同時にこれに對する關東州鹽の今後に於ける立場即ちその根本機能を奈邊に注がざるべからざるかを考究せんとしたものである。

一、本調査資料中、青島鹽に關する部分は主として江良廉治氏に依頼して實地踏査を願ひ、その報告及蒐集材料並に關東廳福島氏より御貸與の資料を參考したるものであつて、他は總て諸先輩の御指導御助成の餘に成つたものである此の點厚く御禮を申上ぐる次第である。尙ほ本編纂擔當者は課員大倉一郎である。

大正十五年八月十八日

庶務部調査課

凡 例

青島鹽と關東州鹽の今後

目次

第一章	緒言	一
第二章	沿革	四
第三章	鹽政	八
第一節	支那の鹽政一般	八
第二節	山東省の鹽政概要	一一
第三節	膠州灣鹽政の推移	一五
第四章	鹽田	一八
第一節	鹽田開設手續	一八
第二節	鹽田の開設功程	一八
附	膠州灣鹽田開設累年表	
第三節	膠州灣の還附と支那政府の邦人鹽田賠償	二一

目次

目次

二

第四節

附 賠償鹽田所有者別付數及反別	
附 引繼當時に於ける膠州灣鹽田面積調	
還附後に於ける鹽田の狀態	二三

附 現在使用中及休業中並に破損鹽田調	
--------------------	--

附 灣内地方別現存鹽田付數調	
----------------	--

寫眞 膠州灣陰島附近鹽田之景	
----------------	--

第五章

鹽田の構造	二七
-------	----

第一節

鹽田の位置	二七
-------	----

第二節

鹽田の土質	二七
-------	----

第三節

模造概観	二八
------	----

第四節

鹽田各局部の面積割合	三〇
------------	----

一、永裕鹽業公司鹽田一部内容	
----------------	--

二、在來支那人鹽田一部内容	
---------------	--

第五節

鹽田の被害及修繕	三四
----------	----

第六章

鹽田築造費	三六
-------	----

一、賠償鹽田築造費內容

二、在來支那人標準鹽田築造費內容

第七章

鹽田の經營

四〇

第一節

概観

四〇

第二節

鹽田直接經營費內容

四一

一、南萬河西鹽田

二、南滿河東第六號鹽田

三、馬哥庄第一六號鹽田

四、下崖河東鹽田

五、後韓家第三〇、三三號鹽田

第八章

生産

四七

第一節

生産高

四七

附 生産高累年表

附 大正十四年度膠州灣地方別現存鹽田生産高

第二節

製鹽の時期

五一

目次

三

目次

四

第三節	鹽夫の傭入	五二
-----	-------	----

第四節	鹽夫の配置	五二
-----	-------	----

第五節	製鹽方法	五三
-----	------	----

第六節	揚水作業	五四
-----	------	----

第七節	結晶鹽採集迄の期間	五五
-----	-----------	----

第八節	季節に依る生産割合	五六
-----	-----------	----

寫眞 貯水溝より水車により蒸發池に揚水する所

寫眞 結晶池より採鹽する所

第九章	生産費	五七
-----	-----	----

附 在來民營成熟鹽田生産調

第十章	品種及品質	五九
-----	-------	----

第一節	成分	五九
-----	----	----

附 灣鹽成分分析成績表

第二節	氣象の品質に及ぼす影響	六〇
-----	-------------	----

第三節	鹽の色澤變化の關係	六一
-----	-----------	----

第十一章 採鹽後の處理……………六二

第一節 鹽田に於ける貯鹽方法……………六二

第二節 鹽田に於ける產鹽の斗量法……………六二

寫眞 鹽田堆鹽場貯鹽の實景

第十二章 搬出及輸送……………六三

第一節 鹽田より舢板積込まで……………六三

第二節 舢板の大きさ及雇入……………六三

第三節 輸送期節……………六四

第四節 運搬に要する時間……………六四

第五節 產地青島間輸送運賃……………六五

第六節 輸送能力及青島大港鹽收納能力……………六六

附 輸送能力及大港第四埠頭收納豫想高

第十三章 鹽の陸揚と青島埠頭貯鹽設備……………六八

第一節 鹽の陸揚……………六八

第二節 陸揚賃金……………六八

目次

五

目次

六

第三節	陸揚鹽貯藏數量實定方法	六九
第四節	埠頭原鹽貯藏設備と其の能力	六九
第五節	貯藏方法	七〇
第六節	現在貯藏高に於て	七〇

一、大正十五年三月末日現在青島埠頭貯鹽數量調

二、大港第四埠頭所有者別貯鹽數量内譯

三、小港埠頭所有者別貯鹽數量内譯

第十四章	灣鹽の品質檢定	七二
------	---------	----

第一節	概観	七二
-----	----	----

第一節	品質檢定の手續	七三
-----	---------	----

附 品質検査に關する請願書様式

附 青島鹽品質檢定規則

第十五章	還附後に於ける鹽業經營とその經營者	八五
------	-------------------	----

附 永裕鹽業公司の組織大要

附 膠澳民戶鹽業運輸股份有限公司定款

第十六章

鹽の賣買取引

九七

第一節

製鹽者と鹽商との取引及決算期

九七

第二節

鹽の取引相場

九八

附 累年別原鹽相場表

附 最近三箇年間に於ける品種別原鹽相場表

第三節

鹽價と銀相場

一〇一

附 青島銀賣相場高低表(正金銀行青島支店建相場)

附 青島銀買相場高低表(同)

上)

第十七章

販路と輸出

一〇四

第一節

販路開拓の経緯と輸出状況

一〇四

附 青島鹽輸出高累年表

附 青島鹽日本及朝鮮輸出高明細表

附 青島鹽香港其他各地輸出高明細表

第二節

日本向工業鹽及朝鮮輸出鹽とその指定鹽高

一〇九

附 青島鹽輸出一般協定書

目次

八

附 青島鹽輸出一般協定附屬書

附 青島鹽臨時輸出辦法書

寫真 青島第四埠頭船積の實景

第十八章

輸出鹽積出狀況

第一節

本船積込作業及その能力

一一七

第二節

埠頭本船乗値段

一一七

一、青島鹽埠頭着原價

二、本船直接諸掛(大正十五年三月現在)

三、青島鹽埠頭本船乘直接原價(同)

四、青島鹽日本内地及朝鮮各地到着推定原價調(同)

五、將來鹽業組合混合保管會社設置の場合に於ける本船乘直接諸掛

六、同上青島鹽埠頭本船乘直接原價

七、同上青島鹽日本内地及朝鮮各地到着推定原價調

八、青島埠頭積出規定料金

第十九章

鹽の生産力とその供給力

一二四

附 灣鹽將來に於ける生産豫想高

第二十章	青島鹽の輸出再開と關東州鹽	一二七
------	---------------	-----

第一節	青島鹽に對する州鹽の立場	一二七
-----	--------------	-----

第二節	最近に於ける鹽の需要趨勢と州鹽	一二九
-----	-----------------	-----

第三節	品質本意の生産と州鹽	一三一
-----	------------	-----

第四節	州鹽と工業用鹽の需要趨勢	一三三
-----	--------------	-----

第五節	州鹽と漁業用鹽	一三七
-----	---------	-----

第二十一章	結 言	一四〇
-------	-----	-----

附 錄

一、鹽業に關する山東縣案細目協定

二、支那鹽業諸規則

青島鹽と關東州鹽の今後 目次(終)

目 次

九